

### 3. 本の世界を楽しもう

＜大人から子どもへ＞

① くさぶえタイム 毎週金曜日 8:20～8:45

〔下学年〕地域の読書ボランティア「くさぶえの会」による読み語りをし、児童が楽しみにしている貴重な時間である。

読み聞かせ後、担任との交換ノートに書名・作者・子どもの様子などを記入し、担任との意見交換をすることで、より児童の心に響く選書や読み聞かせの技術などを工夫している。



↑お話が始まると、みんなおしゃべりをやめ、夢中になって聞き入っている。子どもたちのお気に入りは、こわい話。

くさぶえのみなさんへ、お礼のお手紙：  
1年間、楽しいお話をありがとう。来年も  
よろしくをお願いします。

〔上学年〕朝読書の時間としている。一人ひとりが読みのめあてをもって個に応じた読み物を選書し、静かに読書に親しむ時間としている。

② 全校一斉 教職員による読み語り

校長・教頭、養護教諭、学校事務など担任以外の教職員も各クラスに出向き、読み語りやブックトークなど自分の得意な分野をそれぞれのアイデアで行う時間を設けている。教職員のカラーが出た本の紹介に子どもたちはひきつけられ、今度はどの先生が来られるかわくわくしながら楽しみにして待ち、好評な時間となっている。



↑ 教頭先生が、1年生へ読み語り

← 校長先生は、6年生へ



↑ 4年生へは、事務職員の先生。



↑ 2年生へは、スクールアドバイザーの先生。

### ③ 外部団体によるお話の会

#### (ア) ストーリーテリング

年に数回、計画的に、お話どんぐりさん・お話baumさんを招いて、全学年対象に（低・中・高・特別支援学級別）にストーリーテリングを行っている。電気の明かりを消し、蝋燭の明かりの中で、



声と表情からお話を想像しながら聞く会は、想像力を働かせお話の世界にひたらせ、読書への関心を高めるには貴重な時間である。子ども達はこうした雰囲気の中でゆったりとお話のおもしろさ、想像することの楽しさ、お話を覚えて語る技術のすばらしさなど、本から広がる豊かさを全身で感じる事ができたようである。

←お話が終わると、誕生月の人が、みんなの願いの叶うお話のろうそくの火を吹き消す事ができるのも、楽しみの一つ。

#### (イ) 地域支援団体による紙芝居

地域の地雷廃絶支援ボランティアの方による紙芝居を上学年対象にいただいた。

内容は、地雷廃絶の意味を考えさせるもの。上学年児童は、総合学習等で戦争・平和・福祉といった学習をしている。教室での学習内容に合い、子どもたちはとても真剣な表情で聞き入ることができた。自分たちにできることは何かを考える時間となり、オタワ条約への参加を呼びかけるちょうちょキャンペーンにも協力した。



←地雷は、人間ばかりでなく罪もないどうぶつたちも傷つける…真剣に話を聞く子どもたち。

聴くだけの受身に留まらず、紙芝居内容を理解し、自分にできることを実践する態度を養う上で貴重な時間となった。

→「オタワ条約」への参加を呼びかけるちょうちょキャンペーン。紙芝居を聞いた4～6年生児童が署名に協力した。



### <友だちから友だちへ>

#### ① 読書郵便

友達、親子、子どもと先生が、同じ本を読み、感想を交わすことで、人とのふれあいを図りながら、本への関心がもてるようにと読書郵便箱を設置している。

出した人から返信のお手紙が届くことで子ども達は、とてもうれしそうな笑顔を浮かべ本を読むことへの喜びを感じたようである。

図書委員会が作成した、読書ゆうびんのポスト。全校児童への呼びかけや配達も、図書委員会が実施。



#### ②ブックトーク

授業で学習した作者の本や関連したテーマの本を紹介しあい、読み広げにつなげている。



←3年生から2年生へのブックトーク。こんなふうに、つなげて本を読むとおもしろいよ。

3年生は、国語「モチモチの木」の学習から、同じ作者や、登場人物の姿などにつながりのある作品を選び、紹介。2年生に紹介するために、自分なりにテーマを考え選書をした。1冊きりに終わらず、本につながりを探すと、さらに読書の楽しさが増すことを知ることができた。

### ③紙芝居・読み語り



6年生が1年教室へ、図書委員会の児童が全校児童対象に大休憩や昼休みの時間を利用して紙芝居や読み語りを行っている。

←朝の学習の時間を利用して、6年生が交代で紙芝居の読み聞かせ。お話が聞きたくて、カバンのかたづけが速くなったよ。

業間・昼休みに行う図書委員会による紙芝居や絵本の読み聞かせ。お話の好きな低学年があつまる。

低学年はお話の世界にひたることができ、高学年は伝える相手を意識して本や紙芝居を選んだり読む練習をしたりすることで、改めて本の世界に親しむことができた。また、上学年と下学年のふれあいも深まった。

